

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0101	科 目 名	パソコン入門			科目区分	兼任
科 目 群	一般教養	担当講師	小島善文／伊東達三			履修区分	選択必修
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	1	授業形態	実習
教 科 書	30 時間でマスター Word&Excel 2016 / プレゼンテーション+PowerPoint 2016			教材・参考書：補足資料・補足課題			
成績評価	毎回の課題提出、理解度で総合的に評価する。						

1. 授業概要

PCの基本操作に始まり、Word・Excel・PowerPointの基本的な操作を解説・例題・実習を行うことで段階的に理解を深める。

2. 到達目標

各種課題を通して基礎から応用までの理解度を上げ、多様な利用が出来る基礎能力を取得する。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション（授業概要の説明）
2	PC基本 ログイン、WINDOWS基本操作、データの提出・保存方法について
3	Word基本 基本設定・操作、各種文字入力・変換
4	Word基本 文書の設定・入力・変換・編集
5	Word応用 文書の編集（配置）
6	Word応用 文書の編集（表挿入）
7	Word応用 文書の編集（図形挿入）
8	Word応用 文書の編集（総合）
9	Excel基本 基本設定・操作、数値入力
10	Excel基本 基本的なワークシートの編集
11	Excel応用 ワークシートの編集
12	Excel応用 グラフの作成
13	Excel応用 グラフの作成
14	Excel応用 ワークシートの編集、グラフの作成（総合）
15	Word・Excelまとめ
16	PowerPoint 基本設定・操作／テンプレートを使った編集
17	PowerPoint スライドの作成
18	PowerPointまとめ

科目の教育目標・授業計画 「2024年度」

科目の教育目標・授業計画「2024年度」					学 科 名	留学生在籍学科	
科目番号	0103	科 目 名	日本語講座Ⅰ			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	小野 恭子			履修区分	講義
開講学年	1	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	選択
教 科 書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書	読解・聴解プリントおよびデジタル教材		
成績評価	試験 50%、小テスト 10%、課題(プロジェクトワークを含む)20%、関心・意欲・態度 20%						

1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。

2. 到達目標

レベルごとの Can-do リストに沿って、日本語の技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」「やりとり」）を習得することができる。

3. 授業計画

前 期	DX 教材	DX 教材	授 業
1	オリエンテーション／事前アンケート Can-do 自己評価チェック		オリエンテーション レベルチェックテスト（言語知識・読解）
2	読解の コツ	予習：Quizlet 漢字 W1、 ミニ講座 1 自他動詞	レベルチェックテスト（聴解） 予習の仕方確認（Quizlet 漢字 W1、ミニ講座 1）
3	読解 第 1 回	予習：Quizlet 漢字 W2、 ミニ講座 2 複合動詞①	漢字 W1 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試 N1/N2」 実戦問題、読解問題・活動
4	聴解 第 1 回	予習：Quizlet 漢字 W3、 ミニ講座 3 複合動詞②	漢字 W2 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試 N1/N2」 実戦問題、聴解問題・活動
5	読解 第 2 回	予習：Quizlet 漢字 W4、 ミニ講座 4 動詞	漢字 W3 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、読解問題・活動
6	聴解 第 2 回	予習：Quizlet 漢字 W5、 ミニ講座 5 い形容詞	漢字 W4 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、聴解問題・活動
7	読解 第 3 回	予習：Quizlet 漢字 W6、 ミニ講座 6 な形容詞	漢字 W5 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、読解問題・活動
8	聴解 第 3 回	予習：Quizlet 漢字 W7、 ミニ講座 7 副詞	漢字 W6 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、聴解問題・活動
9	読解 第 4 回	予習：Quizlet W8、 ミニ講座 8 対義語①	漢字 W7 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、読解問題・活動
10	中間テスト（JLPT 模試）		
11	聴解 第 4 回	予習：Quizlet 漢字 W1-2、 ミニ講座 9 対義語②	漢字 W8 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、聴解問題・活動
12	読解 第 5 回	予習：Quizlet 漢字 W3-4、 ミニ講座 10 同義語	漢字 W1-2 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、読解問題・活動
13	聴解 第 5 回	予習：Quizlet 漢字 W5-6、 ミニ講座 11 擬音語・擬態語	漢字 W3-4 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、聴解問題・活動
14	読解 第 6 回	予習：Quizlet W7-8、 ミニ講座 12 カタカナ語	漢字 W5-6 ディクテ、ミニ講座タスク プロジェクトワーク：学科紹介
15	聴解 第 6 回	ミニ講座 13 慣用句 プロジェクトワーク準備	漢字 W7-8 ディクテ、ミニ講座タスク 「学科紹介」ジグソー型で発表（録画→日本語学校へ）

16			期末テスト、Can-do 自己評価チェック
17			追再試、補講

科目の教育目標・授業計画 「2024年度」

科目の教育目標・授業計画「2024年度」						学 科 名	留学生在籍学科
科目番号	0104	科 目 名	日本語講座Ⅱ			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	小野 恭子			履修区分	講義
開講学年	1	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	選択
教 科 書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書	「ドリル&ドリル読解・聴解」およびデジタル教材		
成績評価	試験 50%、小テスト 10%、課題(プロジェクトワークを含む)20%、関心・意欲・態度 20%						

1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。

2. 到達目標

レベルごとの Can-do リストに沿って、日本語の技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」「やりとり」）を習得することができる。

3. 授業計画

後 期	DX 教材	DX 教材	授 業
1	読解 第 1 回	予習：Quizlet 語彙 W1、 ミニ講座 1 接続表現	語彙 W1 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、読解問題・活動
2	聴解 第 1 回	予習：Quizlet 語彙 W2、 ミニ講座 2 文末表現①	語彙 W2 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、聴解問題・活動
3	読解 第 2 回	予習：Quizlet 語彙 W3、 ミニ講座 3 文末表現②	語彙 W3 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、読解問題・活動
4	聴解 第 2 回	予習：Quizlet 語彙 W4、 ミニ講座 4 こと・もの	語彙 W4 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、聴解問題・活動
5	読解 第 3 回	予習：Quizlet 語彙 W5、 ミニ講座 5 わけ・ところ	語彙 W5 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、読解問題・活動
6	聴解 第 3 回	予習：Quizlet 語彙 W6、 ミニ講座 6 条件	語彙 W6 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、聴解問題・活動
7	読解 第 4 回	予習：Quizlet 語彙 W7、 ミニ講座 7 否定表現	語彙 W7 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、読解問題・活動
8	聴解 第 5 回	予習：Quizlet 語彙 W8、 ミニ講座 8 敬語①	語彙 W8 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、聴解問題・活動
9	読解 第 4 回	予習：Quizlet 語彙 W1-2、 ミニ講座 9 敬語②	語彙 W1-2 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、読解問題・活動
10	中間テスト（JLPT 模試）		
11	聴解 第 5 回	予習：Quizlet 語彙 W3-4、 ミニ講座 10 敬語③	語彙 W3-4 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、聴解問題・活動
12	読解 第 6 回	予習：Quizlet 語彙 W5-6、 ミニ講座 11 総まとめ①	語彙 W5-6 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、読解問題・活動
13	聴解 第 6 回	予習：Quizlet 語彙 W7-8、 ミニ講座 12 総まとめ②	語彙 W7-8 ディクテ、ミニ講座タスク 「ドリル&模試」 実戦問題、聴解問題・活動
14		プロジェクトワーク準備	プロジェクトワーク：行事紹介
15		プロジェクトワーク準備	「行事紹介」ジグソー型で発表（録画→新入生説明会）
16			期末テスト、Can-do 自己評価チェック
17			追再試、補講

科目の教育目標・授業計画「2024年度」						学 科 名	該当学科
科目番号	0105	科 目 名	一般教養講座Ⅰ			科目区分	
科 目 群		担当講師	沢田雄太・麻生裕之			履修区分	講義
開講学年	1 年	開講学期	前 期	単位数	2	授業形態	選択
教 科 書	プリント			参考書			
成績評価	各課題の成績と出席を総合評価。						

1. 授業概要

基礎学力の向上と就職試験対策を目的として、過去に学習した範囲の数学と漢字の復習を行います。また、新聞記事を読んで設問に答える新聞読解も行います。

2. 到達目標

就職試験の初歩的な教養問題が解ける。

3. 授業計画

前期			
1	漢字：読み取り・書き取り①	数学：正負の数の足し算/引き算	読売ワークシート
2	漢字：読み取り・書き取り②	数学：正負の和の掛け算/割り算	読売ワークシート
3	漢字：形が似ている漢字	数学：四則の混じった計算	読売ワークシート
4	漢字：同音異義語・同訓異字	数学：①～③のまとめ	読売ワークシート
5	漢字：敬語表現・熟語	数学：文字式の足し算/引き算	読売ワークシート
6	漢字：類義語・対義語	数学：文字式の掛け算/割り算	読売ワークシート
7	漢字：ことわざ・慣用句	数学：文字式のいろいろな計算	読売ワークシート
8	漢字：三字熟語・四字熟語	数学：⑤～⑦のまとめ	読売ワークシート
9	漢字：音読み・訓読み①	数学：1次方程式①	読売ワークシート
10	漢字：間違いやすい漢字①	数学：1次方程式②	読売ワークシート
11	漢字：学習漢字の音訓	数学：1次方程式③	読売ワークシート
12	漢字：熟語の成り立ち・読み方	数学：比例式	読売ワークシート
13	漢字：故事成語・名言格言	数学：⑨～⑫のまとめ	読売ワークシート
14	漢字：間違いやすい漢字②	数学：円とおうぎ形	読売ワークシート
15	漢字：まとめ	数学：立体の表面積	読売ワークシート
16			
17			

科目の教育目標・授業計画「2024年度」						学 科 名	該当学科
科目番号	106	科 目 名	一般教養講座Ⅱ			科目区分	
科 目 群		担当講師	沢田雄太・麻生裕之			履修区分	講義
開講学年	1 年	開講学期	後 期	単位数	2	授業形態	選択
教 科 書	プリント			参考書			
成績評価	各課題の成績と出席を総合評価。						

1. 授業概要

基礎学力の向上と就職試験対策を目的として、過去に学習した範囲の数学と漢字の復習を行います。また、新聞記事を読んで設問に答える新聞読解も行います。

2. 到達目標

就職試験の初歩的な教養問題が解ける。

3. 授業計画

後期			
1	漢字：一字漢字の読み・書き①	数学：多項式計算	読売ワークシート
2	漢字：一字漢字の読み・書き②	数学：単項式の計算	読売ワークシート
3	漢字：一字漢字の読み・書き③	数学：式の値/等式の変形	読売ワークシート
4	漢字：熟語の読み・書き①	数学：①～③のまとめ	読売ワークシート
5	漢字：熟語の読み・書き②	数学：連立方程式①	読売ワークシート
6	漢字：熟語の読み・書き③	数学：連立方程式②	読売ワークシート
7	漢字：複数の音読み・訓読み	数学：連立方程式③	読売ワークシート
8	漢字：誤りやすい読み・書き	数学：⑤～⑦のまとめ	読売ワークシート
9	漢字：同訓異字・同音異義語	数学：1次関数①	読売ワークシート
10	漢字：二字熟語	数学：1次関数②	読売ワークシート
11	漢字：三字熟語	数学：1次関数③	読売ワークシート
12	漢字：四字熟語	数学：⑨～⑪のまとめ	読売ワークシート
13	漢字：類義語	数学：平行線と角	読売ワークシート
14	漢字：対義語	数学：三角形の角	読売ワークシート
15	漢字：まとめ	数学：多角形の角	読売ワークシート
16			
17			

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」					学 科 名	共通	
科目番号	108	科 目 名	社会人教養講座Ⅰ			科目区分	
科 目 群	教養	担当講師	天野 誠一			履修区分	
開講学年	1、2 年	開講学期	前期	単位数		授業形態	
教 科 書	使用しない			教材・参考資料 適宜、資料配布			
成績評価	課題提出その他						

1. 授業概要

この講座では、社会人として第一歩を踏み出すに必要な、働くことの意味について次のテーマに従って分かりやすく解説します。

1) 労働法とは何か、2) 働き始める前に知っておかなければならないこと、3) 働くときのルール、4) 仕事を辞めるとき、辞めさせられるとき、5) 就職の仕組みに関して
講義は、講師側が一方的に話をして終わりという形ではなく、皆さんにも一緒に考えてもらい、質問も遠慮なくしていただきます。

2. 到達目標

正しい情報をつかみ、判断力を養う。自分の考えをまとめ、積極的に発信していく。社会人としての教養を身につける。

3. 授業計画

前期 1	2024 年とはどういう年か。世界の人口は 80 億人。地球の誕生から。 人類の誕生から
2	世界の課題①地球温暖化 脱炭素 カーボンニュートラル
3	日本の課題①人口減少世界一 このままだと人口が半減する 少子高齢化
4	世界の課題②生物多様性の危機 絶滅危惧種 SDG s
5	日本の課題②エネルギー基本計画 化石燃料を使わない 原発は
6	日本の課題③東京一極集中 消滅する地方
7	世界の課題③防衛 地政学的な問題 ウクライナ ガザ
8	日本の課題④政治とカネ 政治資金規正法 民主主義
9	働くということ 1 残業は必要なのか 最低賃金とは
10	働くということ 2 正規か非正規か 働き方改革
11	働くということ 3 失業したら 仕事でけがをしたら
12	働くということ 4 万一解雇されたら
13	作文演習
14	作文演習
15	まとめ 日本の未来

科目の教育目標・授業計画 「2024 年度」

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」					学 科 名	共通
科目番号	109	科 目 名	社会人教養講座Ⅱ		科目区分	
科 目 群	教養	担当講師	天野 誠一		履修区分	
開講学年	1、2 年	開講学期	後期	単位数	授業形態.	
教 科 書	使用しない			教材・参考資料 適宜、資料配布		
成績評価	課題提出その他					

1. 授業概要

この講座では、社会の仕組み、そして今の日本が抱える諸課題について分かり易く説明するとともに、皆さんが学んだ専門知識や技術を存分に活用し、有意義な社会生活を送って行くために必要なノウハウを、アドバイスしていきます。

また、消費者教育として、個人の消費行動とそこの起こるトラブルについて認識し、新しいライフスタイルを主体的に選択し、創造できるようにする。

2. 到達目標

正しい情報をつかみ、判断力を養う。自分の考えをまとめ、積極的に発信していく。社会人としての教養を身につける。

3. 授業計画

後期 1	総論 人類の歴史 宇宙の歴史 物の見方 新しい動き
2	3つの危機 温暖化 多様性 人口減少
3	税金、年金、健康保険 知らないと損をする。
4	新聞の役割 社会に欠かせないもの リアルな現場に真実がある
5	犯罪と日本の警察
6	会社の選び方 いい会社と悪い会社
7	自己アピールの方法 面接の心構え エントリーシート
8	消費者トラブル ネット犯罪
9	著作権と AI 個人情報
10	危機管理の重要性 いざとなったらどうするのか 失敗から学ぶ ミスの原因 メモをとる
11	食の未来 食料自給率 有機農業
12	社会の仕組み IT 企業の戦略
13	作文演習 民主主義と選挙
14	作文演習 情報の信頼性 正しい情報はどこから得られるか
15	全体まとめ 世界の未来は

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0201	科 目 名	建築学概論			科目区分	専任・兼任
科 目 群	専門基礎	担当講師	小川貴之 他			履修区分	講義
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	必修
教 科 書	－			教材・参考書：プリント、写真（プロジェクター）			
成績評価	各授業内で出すレポート、平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築分野の概要を学び、建築を主とした様々な専門分野の相互関係を理解する。

2. 到達目標

建築、及び建築に関わる理念や職能範囲を知り、建築学の体系を大まかに捉えることができる。

3. 授業計画

前期	
1	建築と設計（1）
2	建築と設計（1）
3	建築と歴史
4	建築と歴史
5	建築と構法
6	建築と構法
7	木造モックアップ演習
8	木造モックアップ演習
9	ものづくり・インテリア
10	ものづくり・インテリア
11	建築と都市
12	建築と都市
13	建築と構造
14	建築と構造
15	建築とランドスケープ
16	建築とランドスケープ
17	建築と設計（2）
18	建築と設計（2）

科目の教育目標・授業計画 「2024 年度」

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0301	科 目 名	建築計画 A			科目区分	兼任
科 目 群	建築計画	担当講師	原田智章			履修区分	講義
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	初学者の建築講座 建築計画			教材・参考書：プリント、写真（プロジェクター）			
成績評価	出席状況 35%、事例調査 35%、実習課題 10%、レポート課題 20%の比率にて評価を行う。						

1. 授業概要

主要なビルディングタイプの事例を通して各種施設の歴史的、計画学的、意匠的、構造的、設備的な視点を横断して講義を行い建物の原理と実践、さらには先進的知識を学習する。

2. 到達目標

生徒各自の調査と発表を通じ、数多の建築事例に触れ、現状の問題認識とこれからの施設計画のあり方について、見通す思考力と自ら評価する能力を身につける。加えて、設計演習に生きる有効な知識を得る。

3. 授業計画

前期	
1	授業概要説明
2	建築計画の領域と設計の関係
3	住様式と住宅の変化
4	戸建住宅
5	事例調査発表：伝統的住宅
6	事例調査発表：建築家の独立住宅
7	集合住宅の計画 1 団地計画
8	集合住宅の計画 2 集合住宅の種類
9	事例調査発表：集合住宅
10	実習課題：住宅の機能的間取り
11	細部計画 1 人間の基本動作 水廻りの計画
12	事例調査発表：台所設備
13	細部計画 2 移動のための寸法 階段と傾斜路
14	事例調査発表：階段
15	幼稚園・保育園の計画 1 幼稚園の変遷
16	幼稚園・保育園の計画 2 幼稚園の計画と各室計画
17	事例調査発表：幼稚園・保育園
18	レポート課題発表
1	前半授業の振り返り
2	後期授業概要説明
3	小学校・中学校の計画 1 小学校・中学校の変遷
4	小学校・中学校の計画 2 新しい教育形態への対応
5	事例調査発表：小学校・中学校
6	生活圏とコミュニティー施設
7	図書館の計画 1 公共図書館の変遷と役割
8	図書館の計画 2 地域図書館の計画と各室計画
9	事例調査発表：図書館

1 0	実習課題：公共トイレの計画
1 1	美術館の計画 1 美術館の変遷
1 2	美術館の計画 2 美術館の計画と各室計画
1 3	事例調査発表：美術館
1 4	コミュニティーセンター・公民館の計画 1 地域集会施設の概要
1 5	コミュニティーセンター・公民館の計画 2 コミュニティーセンター・公民館の計画
1 6	事例調査発表：コミュニティーセンター
1 7	レポート課題発表
1 8	後半講座振り返り まとめ

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0302	科 目 名	建築計画B			科目区分	兼任
科 目 群	建築計画	担当講師	原田智章			履修区分	講義
開講学年	2 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	初学者の建築講座 建築計画			教材・参考書：プリント、写真（プロジェクター）			
成績評価	出席状況 35%、事例調査 35%、実習課題 10%、レポート課題 20%の比率にて評価を行う。						

1. 授業概要

主要なビルディングタイプの事例を通して各種施設の歴史的、計画学的、意匠的、構造的、設備的な視点を横断して講義を行い建物の原理と実践、さらには先進的知識を学習する。

2. 到達目標

生徒各自の調査と発表を通じ、数多の建築事例に触れ、現状の問題認識とこれからの施設計画のあり方について、見通す思考力と自ら評価する能力を身につける。加えて、設計演習に活きる有効な知識を得る。

3. 授業計画

前期	
1	授業概要説明
2	高齢社会と建築計画
3	事例調査発表：ユニバーサルデザイン
4	病院の計画 1 病院の誕生と計画
5	病院の計画 2 病院の部門構成と各室計画
6	事例調査発表：病院
7	高齢者施設の計画 1 高齢者施設の分類
8	高齢者施設の計画 2 高齢者施設の各室計画
9	事例調査発表：高齢者施設
10	商業施設の規模計画と経済効率
11	事務所ビルの計画 1 事務所ビルの変遷
12	事務所ビルの計画 2 事務所ビルの計画と各室計画
13	事例調査発表：事務所ビル
14	実習課題 1：オフィスレイアウト
15	宿泊施設の計画 1 宿泊施設の変遷とホテルの種類
16	宿泊施設の計画 2 ホテルの計画と各室計画
17	事例調査発表：宿泊施設
18	レポート課題発表
1	前半授業の振り返り
2	後期授業概要説明
3	劇場・音楽ホール of 計画 1 劇場・音楽ホールの変遷と計画
4	劇場・音楽ホール of 計画 2 客席の計画と舞台の計画
5	事例調査発表：劇場・ホール
6	百貨店・スーパーマーケット of 計画 1 百貨店・スーパーマーケットの変遷
7	百貨店・スーパーマーケット of 計画 2 大規模小売店舗の計画と売り場の計画
8	事例調査発表：百貨店・スーパーマーケット
9	駐車場の計画

1 0	実習課題 2 : 駐車場のレイアウト
1 1	外部空間の計画
1 2	事例調査発表 : ランドスケープ
1 3	自然現象の知覚 寒暑感覚と建築
1 4	事例調査発表 : パッシブデザイン
1 5	視覚と建築 聴覚と建築
1 6	事例調査発表 : 窓
1 7	レポート課題発表
1 8	後半講座振り返り まとめ

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0303	科 目 名	建築史			科目区分	専任
科 目 群	建築計画	担当講師	関村啓太			履修区分	講義
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	必修
教 科 書	大橋竜太ほか『コンパクト版 建築史』			教材・参考書 配布資料			
成績評価	中間試験 3 0 %、期末試験 3 0 %、レポート 3 0 %、その他平常点 1 0 %で総合的に評価する。						

1. 授業概要

日本及び西洋に分けて近代建築史までの概要を習得させる。様式史、技術史的観点から解説するとともに、現代建築への影響など、写真、図表等を用いてビジュアルに講義し、その意義について理解する。

2. 到達目標

建物の発生から、各地の建築作品の歴史を知ることにより、建築のあり方について考察できるようにする。

3. 授業計画

後期	
1	オリエンテーション（授業概要説明）
2	建築史とはなにか（概論）
3	日本の古代建築（寺院・神社）
4	日本の古代建築（住宅・都市）
5	日本の中世建築（寺院・神社・住宅）
6	日本の近世建築（城郭・住宅）
7	日本の近世建築（茶室、寺院）
8	東洋の建築（イスラーム、中国建築の概説）
9	映像『日本の近代建築の夜明け 旧岩崎邸庭園』上映ならび解説
10	日本建築史まとめ
11	ギリシャ建築・ローマ建築
12	ビザンチン建築・ロマネスク建築・ゴシック建築
13	ルネサンス建築・バロック建築
14	近代建築（産業革命から 19 世紀までの建築）
15	近代建築（モダニズム建築）
16	日本の近代建築（幕末から 1950 年代まで）
17	ヴァナキュラー建築の世界
18	西洋建築史・近代建築史まとめ

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0304	科 目 名	都市計画		科目区分	専任・実務系教員	
科 目 群	建築計画	担当講師	小川 貴之		履修区分	講義	
開講学年	2 年次	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	必修
教 科 書	『都市計画とまちづくりがわかる本』伊藤雅春他 彰国社			教材・参考書：随時プリントを配布			
成績評価	試験（中間試験、期末試験）、平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

歴史的、技術的な側面から、都市計画・まちづくりの基本を学ぶ。

2. 到達目標

事例を通して、都市計画、まちづくりの手法や法規的制約などの知識が習得できる。 講義形式を基本とするが、K J 法を用いたワークショップを行うなど実用的な学習も体験する。担当教員は、都市計画マスタープラン策定委員に関わった経験があり、都市計画、まちづくりの実務経験に基づき実際の業務に近い授業を展開する。

3. 授業計画

後期	
1	ガイダンス（授業概要説明）
2	都市とは何か。都市計画、まちづくりの定義
3	世界の都市計画史と思潮-1 古代～近世まで
4	日本の都市計画史と思潮-2 近代～現代まで
5	日本の都市計画史と思潮
6	都市計画史まとめ
7	都市計画の枠組み-1 都市計画と関連法規
8	都市計画の枠組み-2 都市計画法の位置づけと体系
9	都市計画の枠組み-3 都市のマスタープランについて
1 0	都市計画の枠組み-4 区画整理事業、開発許可制度について
1 1	都市計画の枠組み-5 地区計画、建築協定について
1 2	関連法規事例紹介、まとめ
1 3	諸外国の都市計画制度
1 4	参加のデザインとまちづくり 事例紹介
1 5	参加のデザインとまちづくり ワークショップ体験-1
1 6	参加のデザインとまちづくり ワークショップ体験-2
1 7	テーマ別まちづくり-1
1 8	テーマ別まちづくり-2

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0305	科 目 名	インテリア計画			科目区分	兼任
科 目 群	建築計画	担当講師	安松一雄			履修区分	講義
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	必修
教 科 書	インテリア計画の知識			参考書			
成績評価	2 回の定期試験、演習と出席を総合的に評価する						

1. 授業概要

個性的なインテリアではなく、多くの人々の共通認識としての必要最小限のインテリア計画のための基本知識を学ぶ。

2. 到達目標

インテリア計画をする時のベースとなる基礎知識を習得する。インテリア空間を使う人間についての知識も重要であることを理解する。

3. 授業計画

前期	
1	講師自己紹介 授業の進め方と試験について その他
2	海外のインテリア 北欧のインテリア
3	インテリアとその歴史
4	インテリアとその歴史
5	インテリアと住生活
6	インテリアと人間
7	インテリアと人間
8	インテリアと環境
9	インテリアと安全
10	インテリアと構法
11	インテリアと構法
12	インテリアエレメントの設計
13	インテリアエレメントの設計
14	住まいのインテリア設計
15	住まいのインテリア設計
16	商業施設のインテリア設計
17	教育施設のインテリア設計
18	インテリア関連法規

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0401	科 目 名	環境工学			科目区分	兼任
科 目 群	建築設備	担当講師	加藤 諭			履修区分	講義
開講学年	2 年次	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	必修
教 科 書	図解建築環境工学の知識			教材・参考書：プリントの配布			
成績評価	試験（中間及び期末試験）60％ その他平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築環境工学に関する基礎的な考え方、理論を理解する。

2. 到達目標

建築実務及び建築系資格に対応した環境工学全般について理解し、専門知識を習得する。
--

3. 授業計画

後期	
1	授業ガイダンス
2	環境工学の概要・SI 単位系（本授業で取り上げる単位等）
3	採光①：明視の条件・光の単位・輝度対比・グレア・昼光率・均斉度・建物の採光特性・昼光利用等
4	採光②：人工採光（照明）・配光・照度計算・照明方式・色温度・照度基準・各種光源の特性と種別等
5	外部環境①：日較・年較差・デクリデ - ・卓越風都市環境と地球環境、ヒートアイランド、温暖化、オゾン層破壊等
6	外部環境②：日照・日射・日影・太陽の高度と方位角・日照時間と可照時間・日照の調整・南中時等
7	採光、外部環境まとめ、問題演習
8	色彩①：色の三属性・色の三原色（混色）・マンセル表色系・オストワルト表色・XY 表色・色彩心理効果等
9	色彩②：色の表れ方・演色性・色彩対比・色彩調整・安全色・建築及びインテリアへの色彩応用等
1 0	音環境①：音の三要素・音の伝わり方・音の速度・音の合成・可聴域・等ラウドネス曲線・カテルパ - ー効果等
1 1	音環境②：明瞭度・了解度・残響時間・許容騒音レベル・建物の音響計画・遮音性能・防音と吸音等
1 2	色彩、音響まとめ、問題演習
1 3	自然換気：室内の空気環境・大気汚染物質・室内空気汚染原因・汚染物質と必要換気量・空気齢等
1 4	自然換気：自然換気特性（重力、風力）・各種換気算定（火気使用、シックハウス、法令）、機械換気 3 種等
1 5	熱環境①：熱移動の基本・熱伝導率・熱貫流率と熱貫流抵抗・熱放射・中空層と熱抵抗等
1 6	熱環境②：日射による熱への影響・相当外気温度差・日射遮蔽係数・建物の熱特性・壁の熱容量等
1 7	熱環境③：湿り空気・露点温度（結露点）・空気線図・結露現象・外部結露と表面結露・断熱効果等
1 8	換気、熱環境まとめ 問題演習

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0402	科 目 名	建築設備			科目区分	兼任
科 目 群	建築設備	担当講師	加藤諭			履修区分	講義
開講学年	2 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	図解建築設備の知識 [改訂 3 版] (オーム社)			教材・参考書：プリントの配布			
成績評価	試験（中間及び期末試験）60％ その他平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築設備の各項 (衛生・空調・電気) について用語・方式・法的基準・施工技術等について理解する。
--

2. 到達目標

建築実務及び建築系資格に対応した建築設備全般について理解し、専門知識を習得する。
--

3. 授業計画

前半	
1	授業ガイダンス
2	建築設備の概要：設備業態・設備資格・建築基準法との関連・設備と躯体関連
3	給水設備①：上水の概要・戸建住宅等の給水・給水圧の規定値・給水器具の分類・関連用語の解説
4	給水設備②：給水方式 (5 方式)・受水槽の構造及び設置規定・受水槽の容量算定 (給水計算)
5	給水設備③：給水ポンプの構造と種別・給水ポンプ能力の算定・給水配管材 (口径と配管抵抗)
6	給湯設備：給湯方式・給湯器の構造と種別・出湯号数・電気式温水器の仕組み・給湯配管材
7	排水設備①：排水方式 (合流・分流)・トラップ の構造と規定値・トラップ の封水破壊と保護・排水勾配
8	排水設備②：排水通気方式 (ルーフ通気と伸張通気)・排水処理・浄化槽の構造と法的規定・排水管
9	排水設備③：特殊排水処理 (厨房排水など)・雨水排水処理・排水桝の種別・排水槽の構造
10	衛生器具設備：衛生器具種別と特性・衛生器具の機能性
11	給排水設備まとめ、問題演習
12	ガス設備：ガス種別 (LPG と LNG)・ガス圧区分・ガス漏れ警報器の設置規定・ガスの安全使用
13	消火設備①：消防法の構成・屋内消火栓、屋外消火栓の各構造と法令規定
14	消火設備②：スプリンクラー、ドレンチャー、パッケージ消火設備の各構造と法令規定
15	消火設備③：連結送水管、連結散水、特殊消火設備 (ガス系・泡・粉末・水噴霧) の法令規定
16	衛生設備の配管方式①：PS (パイプスペース) の計画、MB (メーターボックス) の計画
17	衛生設備の配管方式②：配管方式 (床上・床下・さや管ヘッダ方式)・衛生配管種別
18	ガス、消火設備まとめ、問題演習
後半	
1	授業ガイダンス (前期振り返り、後期授業概要)
2	換気設備：機械換気の目的・機械換気方式・ファン類の種別・法令上の換気計算・全熱交換機等
3	排煙設備：建築排煙と消防排煙の目的・機械排煙方式・法令上の排煙規定・付室加圧給気防煙等
4	空調設備①：空気調和の基本・室内温熱環境・空気の状態変化・空調 (冷暖房) 負荷等
5	空調設備②：空調用熱源設備・冷凍機の特性と種別・ボイラーの特性と種別・冷却塔・ヒートポンプ
6	空調設備③：空気調和機 (AHU・FCU) の特長・空調配管及びダクト、制気口、ダンパの役割
7	空調設備④：空気調和方式 (単一ダクト、二重ダクトなど)・個別空調 (パッケージ空調) 等
8	換気・空調設備まとめ、問題演習
9	電気設備①：電気設備の概要・関連法規・電気基礎理論・受電・変電 (キュービクル)・幹線等
10	電気設備②：動力設備・分電盤 (動力盤) の構成・電力量計・回路の構成・自家発電及び蓄電池等
11	電気設備③：照明 (電灯) コンセント設備・コンセントとスイッチの種別・照明器具と照明方式等

1 2	電気設備④：弱電設備（通信、LAN、ITV、TV共聴他）・避雷設備・自動制御設備等
1 3	防災設備①：非常照明（建基法）及び誘導灯、非常コンセント・無線通信補助設備（消防法）の基準等
1 4	防災設備②：自動火災報知・非常警報・非常放送・漏電火災警報器設備（消防法）の設置基準等
1 5	搬送設備：エレベータ及びエスカレータの構造、法令基準・その他搬送設備等
1 6	省エネルギー設備①：建築物省エネ法基準・PAL*と一次消費エネルギー係数・ライフサイクルコスト等
1 7	省エネルギー設備②：コージェネレーション・蓄熱槽・太陽光発電・燃料電池等
1 8	電気・防災設備まとめ、問題演習

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0501	科 目 名	建築法規			科目区分	兼任
科 目 群	建築法規	担当講師	河村 春美			履修区分	講義
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	初学者の建築講座（建築法規）			教材・参考書：建築関係法令集			
成績評価	試験（中間及び期末試験）その他平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築基準法の内容全般を理解する。

2. 到達目標

実務上必要な知識とともに、二級建築士試験レベルに必要とされる部分を重点的に習得する。
--

3. 授業計画

前半	
1	授業ガイダンス
2	建築基準法の概要、法令用語の使い方
3	用語の定義－1（建築物、特殊建築物等）
4	用語の定義－2（耐火建築物、建築等）
5	面積と高さ－1（敷地面積、建築面積等）
6	面積と高さ－2（容積対象延べ面積、高さ、階数等）
7	問題演習
8	一般構造－1（採光）
9	前期中間試験前まとめ
10	一般構造－2（換気）
11	一般構造－3（天井高さ、便所等）
12	構造強度－1（木造一般）
13	構造強度－2（木造軸組み計算）
14	軸組み計算問題演習
15	構造強度－3（その他の構造）
16	耐火・防火（耐火建築物、準耐火建築物）
17	防火地域・準防火地域
18	前期期末試験前まとめ
後半	
1	授業ガイダンス（前期振り返り、後期授業概要説明）
2	防火区画
3	避難施設－1（2階段、避難階段等）
4	避難施設－2（排煙設備、非常用照明等）
5	道路と敷地
6	用途地域
7	建ぺい率
8	容積率－1（道路幅員による容積率の算定等）
9	問題演習
10	後期中間試験前まとめ
11	容積率－2（特定道路による容積率の算定等）

1 2	高さ制限－1（絶対高さ、道路斜線等）
1 3	高さ制限－2（道路斜線、2方向道路等）
1 4	高さ制限－3（隣地斜線、北側斜線）
1 5	問題演習
1 6	確認申請、建築手続き－1（確認申請等）
1 7	確認申請、建築手続き－2（建築手続き等）
1 8	後期期末試験前まとめ

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0601	科 目 名	構造力学Ⅰ			科目区分	兼任
科 目 群	建築構造	担当講師	河村 春美			履修区分	講義
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	建築構造設計概論			教材・参考書			
成績評価	試験（中間試験、期末試験） 80％、平常点や授業への貢献度 20％						

1. 授業概要

構造物に働く力の基本的な知識を習得し、実際の構造物を合理的に設計する上で必要な基礎的な事を学ぶ。
--

2. 到達目標

静定構造物において力のつり合いを用い、どの部分にどのような力が生ずるか解けるようになる。
--

3. 授業計画

前半	
1	授業ガイダンス
2	1 章 構造物に働く力 1. 建築物に働く力 2. 力の基本 1) 力
3	1 章 構造物に働く力 2. 力の基本 2) 力の合成と分解 3) 力の釣合い
4	中間試験
5	3. 構造物と荷重および外力 5. 反力 1) 反力 2) 反力の求め方 単純梁+集中荷重
6	5. 反力 単純梁+等分布荷重
7	5. 反力 片持ち梁+集中荷重
8	5. 反力 単純梁系ラーメン+集中荷重
9	期末試験
10	追試期間
11	安定・静定 章末問題
12	章末問題
13	2 章 静定構造物の部材に生じる力 1. 構造物に生じる力
14	中間試験
15	2. 静定梁 単純梁+集中荷重
16	2. 静定梁 単純梁+集中荷重
17	2. 静定梁 単純梁+等分布荷重
18	期末試験
後半	
1	2. 静定梁 単純梁+モーメント荷重、片持ち梁+集中荷重
2	2. 静定梁 単純梁+モーメント荷重、片持ち梁+集中荷重
3	2. 静定梁 変形問題、節末問題
4	中間試験
5	節末問題
6	3. 静定ラーメン 1) 片持梁系ラーメン
7	2) 単純梁系ラーメン+集中荷重
8	2) 単純梁系ラーメン+等分布荷重
9	期末試験
10	3. 静定ラーメン 3 ヒンジラーメン、節末問題
11	節末問題

1 2	静定トラス 節点法
1 3	中間試験
1 4	静定トラス 切断法
1 5	二級建築士試験過去問題演習-1
1 6	二級建築士試験過去問題演習-2
1 7	期末試験
1 8	まとめ

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0602	科 目 名	構造力学Ⅱ			科目区分	兼任
科 目 群	建築構造	担当講師	崎田 由紀			履修区分	講義
開講学年	2 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	建築構造設計概論			教材・参考書			
成績評価	4 回の定期試験と演習を総合的に評価する。						

1. 授業概要

不静定構造物の応力の求め方を中心に実務に必要な荷重算定・応力算定などの構造計算の基礎を習得する。同時に、構造力学 1 の復習を行うことで一級、二級建築士試験の力学範囲を理解する。さらに構造設計と関連づけた授業を行うことで実務との関連を意識させる。

2. 到達目標

一般的に実設計でも用いられる不静定構造物の応力分布を求める方法（一級建築士資格試験の出題範囲含む）を習得すること。フレーム構造物の崩壊の仕方、そのときの荷重を求める手法を知ること、より丁寧な構造設計が可能となることを理解する。木造の構造計算の概要を理解する。

3. 授業計画

前半	
1	授業ガイダンス（授業概要説明） 木構造 構造計画
2	木構造 壁量計算
3	木構造 壁量計算 四分割法
4	木構造 四分割法
5	木構造 接合部の設計
6	木構造 木材及び筋かいの品質 1～2 級建築士試験木造の問題演習
7	木構造 中間試験類似問題演習・解説
8	木構造 中間試験
9	部材の性質と応力度 単純梁のたわみとたわみ角
10	部材の性質と応力度 単純梁のたわみとたわみ角
11	部材の性質と応力度 片もち梁のたわみとたわみ角
12	支点とたわみとたわみ角
13	反曲点
14	1 級建築士たわみとたわみ角の問題演習
15	たわみとたわみ角 期末試験類似問題演習・解説
16	たわみとたわみ角 期末試験
17	追試期間
18	追試期間
後半	
1	たわみとたわみ角復習
2	不静定構造物の部材に生じる力 不静定梁
3	不静定構造物の部材に生じる力 不静定梁
4	不静定構造物の部材に生じる力 不静定梁
5	不静定構造物の部材に生じる力 固定モーメント法
6	不静定構造物の部材に生じる力 不静定ラーメン
7	不静定構造物の部材に生じる力 分割モーメントと到達モーメント

8	不静定構造物の部材に生じる力 1級建築士不静定の問題演習・解説
9	不静定構造物 中間試験 類似問題演習・解説
10	不静定構造物 中間試験
11	2級建築士試験問題演習・解説
12	2級建築士試験問題演習・解説
13	2級建築士試験問題 トラス・3ヒンジラーメン
14	2級建築士試験問題 トラス・3ヒンジラーメン
15	2級建築士試験問題 断面の性質・座屈・応力度
16	2級建築士試験問題 断面の性質・座屈・応力度
17	2級建築士試験力学 期末試験 類似問題演習・解説
18	2級建築士試験力学 期末試験

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0603	科 目 名	材料力学			科目区分	兼任
科 目 群	建築構造	担当講師	井上 静			履修区分	講義
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	必修
教 科 書	建築構造設計概論			教材・参考書			
成績評価	2 回の定期試験をベースに、その他レポート等追課題を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

部材の断面を安全でかつ経済的なものとなるよう、形や大きさを決める際の構造材料の力学的性質などについて理解する。題材として主に、木質構造を取り上げる。

2. 到達目標

部材に生ずる力に対して、安全でかつ経済的に部材を設計する基本的解法を習得する。

3. 授業計画

後期	
1	ガイダンス（授業概要説明）
2	3 章 部材の性質と応力度 1. 断面の性質 1) 断面一次モーメントと図心
3	2) 断面二次モーメント
4	3) 断面係数
5	4) 断面二次半径 5) 断面の主軸
6	問題演習・解説
7	2. 構造材料の力学的性質 1) 応力度 1-1 垂直応力度
8	1-2 せん断応力度 2) ひずみ度 2-1 縦ひずみ度 2-2 横ひずみ度 2-3 せん断ひずみ度
9	3) 弾性体の性質 3-1 弾性・塑性・弾性係数 3-3 ヤング係数 3-4 せん断弾性係数
10	4) 材料の強さと許容応力度 4-1 応力度－ひずみ度曲線 4-2 許容応力度
11	3. 部材に生ずる応力度 1) 曲げモーメントを生ずる部材 1-1 梁の曲げ応力度
12	1-2 梁のせん断釣合い 1-3 梁のせん断応力度
13	1-4 梁の主応力度 1-5 曲げ材の設計
14	問題演習・解説
15	2) 引張力を生ずる部材
16	3) 圧縮力を生ずる部材 3-1 棒状部材の座屈 3-2 長柱公式
17	3-3 圧縮材の設計 3-4 偏心荷重を受ける圧縮材
18	問題演習・解説

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0604	科 目 名	鉄筋コンクリート構造			科目区分	兼任
科 目 群	建築構造	担当講師	井上 静			履修区分	講義
開講学年	2 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	選択必修
教 科 書	建築構造設計概論			教材・参考書			
成績評価	2 回の定期試験をベースに、その他レポート等追課題を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

鉄筋コンクリートとは、建築物の骨組を構成する構造材料のうち、主要な材料の一つである。本講では鉄筋コンクリート構造の力学的特性を学び、それらを踏まえた設計法の基礎知識を身につける。

2. 到達目標

鉄筋コンクリート構造の基礎的な許容応力度設計ができるようになる。

3. 授業計画

後期	
1	授業ガイダンス
2	鉄筋コンクリート造の特徴：材料特性など
3	鉄筋コンクリート造の特徴：力学特性など
4	R C ラーメン構造 スラブの規定等概略
5	R C ラーメン構造 片持ちスラブ主筋の計算解説
6	R C ラーメン構造 四辺固定スラブ主筋の計算解説
7	R C ラーメン構造 梁の規定等概略
8	R C ラーメン構造 梁主筋の計算解説
9	R C ラーメン構造 梁帯筋の計算解説
1 0	R C ラーメン構造 梁の総合問題計算解説
1 1	講義まとめ、問題演習
1 2	R C ラーメン構造 柱の規定等概略
1 3	R C ラーメン構造 柱主筋の計算解説
1 4	R C ラーメン構造 柱帯筋の計算解説
1 5	R C ラーメン構造 柱の総合問題計算解説
1 6	R C ラーメン構造 基礎の規定等概略
1 7	R C ラーメン構造 基礎の計算解説
1 8	講義まとめ、問題演習

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0605	科 目 名	鉄骨構造			科目区分	兼任
科 目 群	建築構造	担当講師	井上 静			履修区分	講義
開講学年	2 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	選択必修
教 科 書	最新建築構造設計入門			教材・参考書			
成績評価	2 回の定期試験をベースに、その他レポート等追課題を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

構造設計の概要と構造物に作用する荷重・外力の種類学び、鋼構造に用いられる鋼材の種類や特性を理解する。

2. 到達目標

鋼構造の知識の習得と共に、接合部および主要な部材を決定するまでの方法論を修得する。

3. 授業計画

前期	
1	5 章 構造設計の考え方 1. 構造設計の概要 4.耐震設計の二次設計
2	5 章 構造設計の考え方 2. 荷重・外力
3	5 章 構造設計の考え方 2. 荷重・外力
4	7 章 鋼構造 1. 鋼構造
5	7 章 鋼構造 2. 許容応力度設計 構造計画
6	7 章 鋼構造 2. 許容応力度設計 材料
7	荷重・外力・鋼構造 中間試験類似問題演習・解説
8	荷重・外力・鋼構造 中間試験
9	7 章 鋼構造 2. 許容応力度設計 接合部の設計
10	7 章 鋼構造 2. 許容応力度設計 接合部の設計
11	7 章 鋼構造 2. 許容応力度設計 鋼材の曲げ座屈・横座屈・局部座屈
12	7 章 鋼構造 2. 許容応力度設計 鋼材の座屈と耐震計算ルート
13	7 章 鋼構造 鋼構造のまとめと 1 級・2 級建築士試験問題演習・解説
14	7 章 鋼構造 鋼構造のまとめと 1 級・2 級建築士試験問題演習・解説
15	鋼構造 期末試験類似問題演習・解説
16	鋼構造 期末試験
17	追試期間
18	追試期間

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0701	科 目 名	建築施工		科目区分	専任	
科 目 群	建築生産	担当講師	関村 啓太		履修区分	必修	
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	座学
教 科 書	雨宮幸蔵ほか『誰でもわかる建築施工(改訂 2 版)』彰国社 (一社) 日本建設業連合会編『施工がわかるイラスト建築生産入門』 彰国社			教材・参考書：			
成績評価	前期、後期の中間と期末における試験と、毎時間ごとに提出する理解確認シートにより評価。						

1. 授業概要

建築施工に関する専門用語、工法などを総合的に学ぶ。

2. 到達目標

工事の流れとそれぞれの工事内容について、必要な知識を修得する。

3. 授業計画

前半	
1	授業ガイダンス
2	建築施工のあらまし
3	建設業の変遷・施工法の変遷
4	請負契約・直営と請負契約・施工者の選定
5	入札・談合
6	見積方式・工事計画
7	工事計画の進め方・工程表
8	ネットワーク工程表
9	仮設工事・登り栈橋
10	各種足場・地下工事
11	土工事
12	山留め
13	杭工事・既製杭
14	場所打ち杭
15	各種杭工法
16	鉄筋コンクリート工事・鉄筋の加工
17	構造図の見方・圧接継ぎ手
18	講義まとめ
後半	
1	授業ガイダンス
2	型枠工事
3	場所打ちコンクリート工事・コンクリートの品質
4	各種コンクリート製品工事・PC・コンクリートブロック・ALC
5	鉄骨系工事・工場加工
6	現場作業
7	木質系工事・材料・金物
8	造作工事

9	枠組み壁工法
10	中間試験前講義まとめ
11	内装仕上げ工事・防水工事・各種防水
12	アスファルト防水
13	シーリング工事
14	タイル工事
15	石工事
16	屋根工事
17	左官工事
18	講義まとめ

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0702	科 目 名	建築材料			科目区分	専任
科 目 群	建築生産	担当講師	関村啓太			履修区分	講義
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	野口貴文ほか『ベーシック建築材料』彰国社			教材・参考書			
成績評価	前期中間試験 22.5%、前期期末試験 22.5%、後期中間試験 22.5%、後期期末試験 22.5%、平常点 10%						

1. 授業概要

建築を構成する材料を包括的にしめし、その性質を習得する。

2. 到達目標

建築設計を行うために使用する建築材料の特性について正しく理解し、素材の選択ができるようにする。

3. 授業計画

前半	
1	概論・規格
2	木材①
3	木材②
4	木材③
5	コンクリート①
6	コンクリート②
7	コンクリート③
8	鋼材①
9	鋼材②
10	鋼材③
11	非鉄金属
12	石材
13	タイル・レンガ
14	プラスチック
15	防水材料
16	ガラス
17	前期講義まとめ
18	前期確認試験
後半	
1	屋根材料
2	左官材料
3	内装材①
4	内装材②
5	断熱材料
6	各種金物
7	衛生陶器
8	システム
9	石こうボード
10	畳・繊維製品
11	接着剤

1 2	新素材①
1 3	新素材②
1 4	産業廃棄物
1 5	仕上表の読み方
1 6	施工図（割付図）の読み方
1 7	後期講義まとめ
1 8	後期確認試験

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0703	科 目 名	建築構法			科目区分	兼任
科 目 群	建築生産	担当講師	足立 真輝・早川 慶太			履修区分	講義・演習
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	建築構法 彰国社			教材・参考書			
成績評価	定期試験と演習課題を総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築物の基礎的な構成と構造方式を学ぶ。建築物の構法が選択される背景や意図をさまざまな視点から学ぶ。

2. 到達目標

構法という視点で建築物を観たり考えたり出来るようになる。

3. 授業計画

前半	
1	オリエンテーション
2	構法のきほん
3	躯体構法（組積造）
4	躯体構法（鉄骨造）
5	躯体構法（鉄筋コンクリート）
6	躯体構法（木造）
7	鉄骨造の現場（DVD）
8	鉄筋コンクリート造の現場（DVD）
9	木造住宅のつくられ方
1 0	震災と構法 -1
1 1	震災と構法 -2
1 2	東京駅と構法
1 3	オリンピックと構法
1 4	都市木造と構法
1 5	住宅と構法
1 6	レポート課題の説明
1 7	建築の性能とは、技術とは -1
1 8	建築の性能とは、技術とは -2
後半	
1	オリエンテーション（授業概要説明）
2	模型制作ツールの使用方法解説
3	立方体の作成（基礎的立体造形の訓練）
4	立方体の輪郭を意識した自由造形①
5	立方体の輪郭を意識した自由造形②
6	様々な屋根の表現手法（屋根伏図と立面図から立体像を読み取る訓練）
7	方形屋根の模型作成
8	複雑な屋根形状の模型作成
9	基本設計と構法（エスキス）①
1 0	基本設計と構法（エスキス）②
1 1	模型制作計画（エスキス）①

1 2	模型制作計画（エスキス）②
1 3	模型制作作業
1 4	模型制作続き
1 5	設計課題講評①
1 6	設計課題講評②
1 7	設計課題講評③
1 8	講義総括

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0704	科 目 名	建築積算			科目区分	兼任
科 目 群	建築生産	担当講師	原 弘光			履修区分	講義
開講学年	2 年次	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	建築数量積算基準			教材・参考書 積算テキスト・種積算資料			
成績評価	定期試験と演習課題を総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築数量積算基準と例題の解説および演習を行うことで、建築価額の内容や構成などを学ぶ。
--

2. 到達目標

数量積算技術の算出方法の基礎の修得する。

3. 授業計画

前半	
1	授業概要説明
2	積算概論① 定義、役割、業務の説明。総則の説明
3	直接仮設① 基準の解説、用語の説明
4	直接仮設② 計測・計算、例題の説明
5	土工地業① 基準の解説、用語の説明
6	土工地業② 基準の解説、用語の説明
7	土工地業③ 計測・計算、例題の説明
8	直接仮設・土工地業のまとめ
9	コンクリート型枠② 基準の解説、用語の説明
10	コンクリート型枠② 基準の解説、用語の説明
11	鉄筋① 基準の解説、基準の解説、用語の説明
12	鉄筋② 基準の解説、基準の解説、用語の説明
13	鉄筋③ 基準の解説、基準の解説、用語の説明
14	コンクリート・型枠・鉄筋① 計測・計算、例題の説明
15	コンクリート・型枠・鉄筋② 計測・計算、例題の説明
16	コンクリート・型枠・鉄筋③ 計測・計算、例題の説明
17	問題演習（1）
18	問題演習（2）
後半	
1	オリエンテーション
2	鉄骨① 基準の解説、計測・計算、用語の説明
3	鉄骨② 基準の解説、計測・計算、用語の説明
4	鉄骨③ 基準の解説、計測・計算、用語の説明
5	鉄骨④ 計測・計算、用語の説明
6	仕上① 基準の解説、計測・計算、用語の説明
7	仕上② 基準の解説、計測・計算、用語の説明
8	仕上③ 基準の解説、計測・計算、用語の説明
9	仕上④ 計測・計算、例題の説明
10	仕上⑤ 計測・計算、例題の説明
11	鉄骨・仕上のまとめ

1 2	改修① 基準の解説、計測・計算、用語の説明
1 3	改修② 基準の解説、計測・計算、用語の説明
1 4	内訳書① 作成、単価（刊行物記載確認）
1 5	内訳書② 作成、単価（刊行物記載確認）
1 6	内訳書③ まとめ
1 7	問題演習（１）
1 8	問題演習（２）

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0801	科 目 名	設計製図 I			科目区分	専任・実務経験教員
科 目 群	設計製図	担当講師	星裕一郎 井上静 萩原秀規			履修区分	実習
開講学年	1 年次	開講学期	通年	単位数	8	授業形態	必修
教 科 書	定番 建築製図			教材・参考書 参考図面を適宜配布			
成績評価	全課題提出による評価 1 0 0 %						

1. 授業概要

製図の基本となる線の引き方、線の種類や太さ、製図記号のルールを学習する。

2. 到達目標

各種図面の表現方法を木造・RC 造ごとにコピーとオリジナル設計をすることで修得する。 課題に基づいた実習を基本とするが、実際の敷地を設定し、実務に近いプロセスを経験する課題を行う。 担当教員は、設計事務所にて設計・監理業務に従事した経験があり、実務経験に基づいた建築設計教育を展開する。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション（用具の使い方など）
2	課題－1：「製図の基本」線，文字，記号の練習
3	「製図の基本」線，文字，記号の練習
4	「製図の基本」線，文字，記号の練習
5	課題－2：製図の表現
6	製図の表現
7	製図の表現
8	課題－3：RC の演習 その1 店舗
9	RC の演習 その1
10	RC の演習 その1
11	RC の演習 その1
12	課題－4：RC の演習 その2 住宅
13	RC の演習 その2
14	RC の演習 その2
15	課題－5：RC カフェの設計 その1
16	RC カフェの設計 その1
17	RC カフェの設計 その1
18	RC カフェの設計 その1
後期	
1	課題－6：木造住宅のコピー その1
2	木造住宅のコピー その1
3	木造住宅のコピー その1
4	木造住宅のコピー その1
5	木造住宅のコピー その1
6	課題－7：木造住宅のコピー その2
7	木造住宅のコピー その2
8	木造住宅のコピー その2

9	木造住宅のコピー その2
10	木造住宅のコピー その2
11	木造住宅のコピー その2
12	課題－8：木造住宅兼店舗の設計
13	木造住宅兼店舗の設計
14	木造住宅兼店舗の設計
15	木造住宅兼店舗の設計
16	木造住宅兼店舗の設計
17	木造住宅兼店舗の設計
18	木造住宅兼店舗の設計

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0802	科 目 名	設計製図Ⅱ			科目区分	専任・実務経験教員
科 目 群	設計製図	担当講師	小川貴之 他			履修区分	実習
開講学年	2 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	建築製図			教材・参考書 プリント・写真・建築雑誌			
成績評価	各課題の評価と、平常点を総合的に評価する。						

1. 授業概要

各課題を通して、製図方法、技術的課題、空間の把握を学ぶ。

2. 到達目標

コンセプトから具体的建築へと展開する設計のプロセスを身につける。 課題に基づいた演習を基本とするが、実際の敷地を設定し、実際の実務に近いプロセスを経験する課題を行う。担当教員は、設計事務所にて設計・監理業務に従事した経験があり、実務経験に基づいた建築設計教育を展開する。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション 講師事例紹介、構造別講義
2	第1 課題「集まって住む（集合住宅）」 課題説明、事例調査、敷地模型制作
3	事例発表、エスキスチェック
4	エスキスチェック
5	作図1（平面図・断面図・立面図）
6	作図2（平面図・断面図・立面図）
7	作図3（まとめ）
8	プレゼンテーション準備
9	発表
10	第2 課題「保育園の設計」 課題説明、事例調査
11	事例発表、エスキスチェック
12	エスキスチェック
13	エスキスチェック
14	作図1（平面図・断面図・立面図）
15	作図2（平面図・断面図・立面図）
16	作図3（まとめ）
17	プレゼンテーション準備
18	発表

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0803	科 目 名	CAD I		科目区分	兼任	
科 目 群	設計製図	担当講師	小島善文・伊東達三		履修区分	選択必修	
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	1	授業形態	実習
教 科 書	CAD リテラシー演習（A&A）			教材・参考書：			
成績評価	教科書課題提出と理解度、平常点を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

VW を使って、教科書の各課題の解説・実習を行い、CAD の初歩的な使い方・目的を理解する。
--

2. 到達目標

今後、CAD をデザインツールとして使って行くための、基本的な理解を高める。
--

3. 授業計画

1	オリエンテーション (授業概要・教科書の使い方/表記/構成 について)
2	第 1 章 作図の基礎
3	第 1 章 作図の基礎
4	第 1 章 作図の基礎 (チャレンジ課題)
5	第 2 章 製図の基礎
6	第 2 章 製図の基礎
7	第 2 章 製図の基礎 (チャレンジ課題)
8	第 3 章 効率的な作図
9	第 3 章 効率的な作図
10	第 3 章 効率的な作図 (チャレンジ課題)
11	第 4 章 3Dモデリング
12	第 4 章 3Dモデリング
13	第 4 章 3Dモデリング (チャレンジ課題)
14	CAD 高等ドリル
15	CAD 高等ドリル
16	CAD 高等ドリル
17	CAD 高等ドリル
18	授業まとめ

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0804	科 目 名	CADⅡ		科目区分	兼任	
科 目 群	設計製図	担当講師	安松 一雄		履修区分	実習	
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	選択必修
教 科 書	できる AutoCAD～2022/2021/2020 対応～			参考書	配布プリント		
成績評価	課題演習と出席を総合的に評価する						

1. 授業概要

業界でスタンダードになっている AutoCAD の基本操作を習得する

2. 到達目標

AutoCAD で図面作成に必要な基本操作を習得する。BIM の概念を簡単なモデリングをすることで理解する。
--

3. 授業計画

1	画面構成
2	基本操作
3	各種設定
4	ツール
5	作成
6	修正
7	寸法
8	ダイナミックブロック
9	図面レイアウト
1 0	製図の手順
1 1	建築図面作成
1 2	建築図面作成
1 3	建築図面作成
1 4	建築図面作成・BIM 概論
1 5	BIM (ArchiCAD) 演習 1
1 6	BIM (ArchiCAD) 演習 2
1 7	BIM (ArchiCAD) 演習 3
1 8	BIM (ArchiCAD) 演習 4

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0804	科 目 名	C A D II		科目区分	兼任	
科 目 群	設計製図	担当講師	小島善文／伊東達三		履修区分	選択必修	
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	10 日でマスター！VECTORWORKS Ver. 2018/2017 対応			教材・参考書：演習データ、補足課題・補足資料			
成績評価	毎回の課題と、授業の理解度で総合的に評価する。						

1. 授業概要

VectorWorks・RenderWorks の操作方法を学習し、図面作成・プレゼンテーションのスキルを学ぶ。
--

2. 到達目標

2D/3D の各種課題を通して、総合的な表現・操作が出来るようになる。

3. 授業計画

1	オリエンテーション
2	2D 基本 01 VECTORWORKS の基本
3	2D 基本 02 2D 作図の基本(1)
4	2D 基本 03 2D 作図の基本(2)
5	2D 応用 04 2D 作図の応用(1)
6	2D 応用 04 2D 作図の応用(1)
7	2D 応用 05 2D 作図の応用(2)+2D 住宅作図
8	2D 応用 05 2D 作図の応用(2)+2D 住宅作図
9	3D 基本 06 3D モデリングの基本
10	3D 基本 06 3D モデリングの基本
11	3D 応用 07 建物のモデリング(2D/3D モデルの作成)+3D 住宅モデリング
12	3D 応用 07 建物のモデリング(2D/3D モデルの作成)+3D 住宅モデリング
13	3D 応用 08 レンダリングとテクスチャーマッピング
14	3D 応用 08 レンダリングとテクスチャーマッピング
15	3D 応用 09 カメラと光源
16	3D 応用 09 カメラと光源
17	2D/3D 10 プレゼンボードの作成
18	2D/3D 10 プレゼンボードの作成

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0901	科 目 名	建築測量		科目区分	兼任	
科 目 群	実験実習	担当講師	関村啓太 松浦正典		履修区分	実習	
開講学年	2 年次	開講学期	後期	単位数	1	授業形態	選択必修
教 科 書	なし			教材・参考書：配布資料			
成績評価	各種レポートの提出、内容・定期試験を総合的に評価する。						

1. 授業概要

・各測量の基礎的な知識と各種測量機器の取り扱いを理解する

2. 到達目標

・測量機器の基本的な操作方法を修得する

3. 授業計画

前期		
1	授業概要説明・測量概要	
2	水準測量 1－1（基本・チルチングレベル）	<実験室・構内外>
3	水準測量 1－2（基本・チルチングレベル）	<実験室・構内外>
4	水準測量 2－1（基本・チルチングレベル・誤差調整法）	<実験室・構内外>
5	水準測量 2－2（基本・チルチングレベル・誤差調整法）	<実験室・構内外>
6	水準測量 3－1（応用・チルチングレベル）	<実験室・構内外>
7	水準測量 3－2（応用・チルチングレベル）	<実験室・構内外>
8	平板測量 1－1（トラバース測量）	<実験室・構内外>
9	平板測量 1－2（トラバース測量）	<実験室・構内外>
10	平板測量 2－1（細部測量）	<実験室・構内外>
11	平板測量 2－2（細部測量）	<実験室・構内外>
12	角測量 1－1（基本・トランシット・方向角の算出）	<実験室・構内外>
13	角測量 1－2（基本・トランシット・方向角の算出）	<実験室・構内外>
14	角測量 2－1（応用・トランシット・トラバース・面積計算）	<実験室・構内外>
15	角測量 2－2（応用・トランシット・トラバース・面積計算）	<実験室・構内外>
16	（トータルステーションによる内角・距離測量）	<実験室・構内外>
17	レポート制作	
18	まとめ	

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	1001	科 目 名	パースペクティブ		科目区分	兼任・実務経験教員	
科 目 群	造形基礎	担当講師	牟禮智絵子 足立真輝		履修区分	演習	
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	基本・建築製図と表現方法			教材・参考書 プリント			
成績評価	各課題の評価と、平常点を総合的に評価する。						

1. 授業概要

軸測投影法（アクソノメトリック）、透視図法（1 消点透視法、2 消点透視法）の表現方法を学ぶ。

2. 到達目標

視覚表現による他者とのコミュニケーション力の修得する 課題に基づいた演習とするが、有名建築を題材とし、クライアントへのプレゼンテーションに活かせる手法を学ぶ。担当教員は、設計事務所にて設計・監理業務に従事した経験があり、実務経験に基づいたプレゼンテーション手法を指導する。

3. 授業計画

前半	
1	はじめに（自己紹介、授業内容、目標）
2	建築の仕事、パースの仕事、スケッチ演習
3	スケッチ演習発表
4	軸測投影法（アクソノメトリック）・ブロック 1
5	軸測投影法（アクソノメトリック）・ブロック 2
6	軸測投影法（アクソノメトリック）・立方体 1
7	軸測投影法（アクソノメトリック）・立方体 2
8	軸測投影法（アクソノメトリック）・室内
9	色・着彩（1）
10	色・着彩（2）
11	軸測投影法（課題）
12	軸測投影法（課題）
13	軸測投影法（課題）
14	軸測投影法（課題）
15	軸測投影法（課題）
16	色・着彩（1）
17	色・着彩（2）
18	軸測投影法・まとめ
後半	
1	夏休み課題（講評会）
2	1 消点透視法（パース） 1
3	1 消点透視法（パース） 2
4	2 消点透視法（パース） 1
5	2 消点透視法（パース） 2
6	2 消点透視法（課題） ビル
7	2 消点透視法（課題） ビル
8	2 消点透視法（課題） ビル

9	2 消点透視法（課題）ビル
1 0	2 消点透視法（課題）ビル（着彩）
1 1	2 消点透視法（課題）ビル（着彩）
1 2	2 消点透視法（応用） 1
1 3	2 消点透視法（応用） 2
1 4	2 消点透視法（応用） 3
1 5	2 消点透視法（応用） 4
1 6	簡易パースの演習 1
1 7	簡易パースの演習 2
1 8	消点透視法まとめ

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1002	科 目 名	造形演習			科目区分	専任、兼任
科 目 群	造形基礎	担当講師	牟禮 智絵子、足立真輝			履修区分	演習
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	選択必修
教 科 書	色彩			教材・色鉛筆・トータルカラー,ポスターカラー等			
成績評価	作品評価、提出状況、平常姿勢から総合的に評価する。						

1. 授業概要

構成作品の制作を通じて、色彩理論などの色彩の基本を学ぶ。

2. 到達目標

建築のアイデアを人に伝えることのできるような描画力を身につける。

3. 授業計画

1	授業ガイダンス
2	色鉛筆の使い方/描画・混色の仕方/色の三原色/色分けによって構成を考える
3	色の三属性/ トータルカラーの色チップで制作
4	平面構成 直線分割 無彩色と2色相のトーンで表現(1)
5	平面構成 直線分割 無彩色と2色相のトーンで表現(2)
6	同時対比
7	平面構成 イメージ構成
8	平面構成
9	平面構成
1 0	形の基本:立方体・直方体・円筒・円錐形を描く
1 1	形の基本:形の複雑な形(石膏)/身近なモノのスケッチ
1 2	空間を捉え方:幾何形体 2 個以上の組み合わせ
1 3	空間を捉え方:静物スケッチ
1 4	空間を捉える:室内の空間スケッチ(1)
1 5	空間を捉える:室内の空間スケッチ(2)
1 6	人物クロッキー(1)
1 7	人物クロッキー (2)
1 8	人物クロッキー (3)

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1101	科 目 名	プレゼンテーション技法			科目区分	専任・兼任
科 目 群	卒業制作	担当講師	星 裕一郎・萩原 秀規			履修区分	実習
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	1	授業形態	選択必修
教 科 書	なし			教材・参考書：プリントを適宜配布			
成績評価	課題提出を評価 1 0 0 %						

1. 授業概要

自ら設定したテーマについて、それを表現する 1 枚のプレゼンボードを制作することで、プレゼンテーションの基礎を学ぶ。

2. 到達目標

エスキス、発表、講評、議論を通し建築デザインに必要な、概念的思考力を身につける。

3. 授業計画

1	ガイダンス 課題説明
2	課題 1 ダイアグラム エスキス
3	提出
4	クリティーク 1
5	クリティーク 2
6	クリティーク 3
7	クリティーク 4・発表
8	課題 2 コンセプト模型 エスキス
9	提出
1 0	クリティーク 1
1 1	クリティーク 2
1 2	クリティーク 3
1 3	クリティーク 4・発表
1 4	課題 3 プレゼンボード エスキス 1
1 5	エスキス 2
1 6	エスキス 3
1 7	エスキス 4
1 8	最終成果品 提出・講評

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1102	科 目 名	現代建築論			科目区分	専任
科 目 群	卒業制作	担当講師	星裕一郎			履修区分	選択必修
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	1	授業形態	講義
教 科 書	なし			教材・参考書			
成績評価	レポート 9 0 % 平常点や授業への貢献度 1 0 %						

1. 授業概要

現代建築の潮流と展望を、現在国内外で活躍する建築家像と彼らの作品群を通して考える。

2. 到達目標

学生達が自らの言葉で現代建築について論述することで、現代建築の潮流を概観する視点を育てる。

3. 授業計画

1	ガイダンス（講義概要説明）
2	伊東豊雄
3	妹島和世・西沢立衛 SANAA
4	Rem Koolhaas / O.M.A.
5	m.v.r.d.v
6	Herzog & de meuron
7	安藤忠雄
8	J.Pawson
9	青木淳
1 0	隈研吾
1 1	藤本壮介、五十嵐淳、長谷川剛
1 2	篠原一男、アトリエワン
1 3	Steven Holl、F.O.Gehry
1 4	Jean Nouvel、D.Perrault
1 5	Glenn Murcutt / Case Study House
1 6	構造家の仕事
1 7	都市
1 8	ランドスケープ

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	1103	科 目 名	施工管理		科目区分	専任、兼任	
科 目 群	卒業制作	担当講師	中島 修 小川貴之 他		履修区分	講義	
開講学年	1 年次※	開講学期	後期	単位数	1	授業形態	選択必修
教 科 書				教材・参考書			
成績評価	プレゼンテーション及びレポートを総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築に関わる技術者の基礎知識として、施工管理の仕事の内容や流れを学ぶ。

2. 到達目標

建設業法による分類の各工事業種について理解する。

3. 授業計画

1	オリエンテーション
2	施工管理とは
3	建設業法について
4	安全管理 その1 グループディスカッション
5	安全管理 その2 プレゼンテーション
6	品質管理 その1 グループディスカッション
7	品質管理 その2 プレゼンテーション
8	工程管理 その1 グループディスカッション
9	工程管理 その2 プレゼンテーション
10	施工管理の事例（1）
11	施工管理の事例（1）
12	施工管理の事例（2）
13	施工管理の事例（2）
14	施工管理の事例（3）
15	施工管理の事例（3）
16	施工管理の事例（4）
17	施工管理の事例（4）
18	講義まとめ

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	1104	科 目 名	卒業設計		科目区分	専任、兼任	
科 目 群	卒業制作	担当講師	小川 貴之・中島 修 他		履修区分	実習	
開講学年	2 年次	開講学期	後期	単位数	6	授業形態	必修
教 科 書				教材・参考書 プリント等			
成績評価	提出作品、プレゼンテーションなどの平常点を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

これまで学んだ計画論、設計手法、製図方法に基づき、自身で設定した課題を作品としてまとめ上げる実践的能力を学ぶ。

2. 到達目標

自身で設定した課題について事例調査・研究を行い、構想をまとめ作品として表現し、発表まで行える能力を修得する。

3. 授業計画

後期	
1	オリエンテーション
2	基本条件の検討（敷地／建築用途／類似建物）
3	基本条件の検討（敷地／建築用途／類似建物）
4	基本条件の決定（敷地／建築用途／類似建物）
5	ケーススタディ（類似建物の動線計画・ゾーニング計画・所要室／敷地の条件・特色）
6	ケーススタディ（類似建物の動線計画・ゾーニング計画・所要室／敷地の条件・特色）
7	ケーススタディ（類似建物の動線計画・ゾーニング計画・所要室／敷地の条件・特色）
8	中間発表
9	エスキス（ゾーニング計画／動線計画／所要室）
10	エスキス（ゾーニング計画／動線計画／所要室）
11	エスキス（ゾーニング計画／動線計画／所要室）・中間提出
12	各図面作成（配置図／平面図／立面図／断面図／3Dプレゼンテーション）
13	各図面作成（配置図／平面図／立面図／断面図／3Dプレゼンテーション）
14	各図面作成（配置図／平面図／立面図／断面図／3Dプレゼンテーション）
15	各図面作成（配置図／平面図／立面図／断面図／3Dプレゼンテーション）
16	全体図面作成（各図面のトータルプレゼンテーション）・模型制作
17	全体図面作成（各図面のトータルプレゼンテーション）・模型制作
18	卒業設計発表会

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1201	科 目 名	基礎学力講座			科目区分	専任
科 目 群	特別講座	担当講師	井上 静 他			履修区分	選択
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	なし			教材・参考書			
成績評価	授業内での課題と平常点や授業への貢献度を総合的に評価する						

1. 授業概要

本学科の専門分野を習得するための、必要な基礎学力を養う。

2. 到達目標

文章読解、力学の理解など、専門分野を学ぶ基礎知識を習得できる。

3. 授業計画

前期	
1	基礎学力試験（1）
2	基礎学力試験（2）
3	学内学力試験 解説-1（数学）
4	学内学力試験 解説-2（数学）
5	学内学力試験 解説-1（国語）
6	学内学力試験 解説-2（国語）
7	基礎学力試験 解説-1
8	基礎学力試験 解説-2
9	文章講座（1） 文章作成-1
10	文章講座（1） 文章作成-2
11	自己分析-1
12	自己分析-2
13	文章講座（2） 解説-1
14	文章講座（2） 解説-2
15	力学基礎-1
16	力学基礎-2
17	まとめ課題
18	まとめ課題 解説

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1202	科 目 名	インテリア計画演習			科目区分	兼任
科 目 群	特別講座	担当講師	益田あけみ			履修区分	演習
開講学年	2 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	選択
教 科 書	インテリア計画の知識			教材・参考書			
成績評価	授業での演習課題を総合的に評価する						

1. 授業概要

1 年次で学んだ知識を再確認しながら、実際のインテリア計画への応用演習を行い、イメージをまとめる能力を養う。

2. 到達目標

条件を読み取って、空間をイメージし、平面図、展開図や天井伏せ図、パース等への表現方法を修得する。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス（授業概要説明）
2	寸法計画の復習 課題 1、ダイニングスペース 平面図、展開図 4 面、天井伏せ図、スケッチ
3	課題 2、インテリアコーディネーター2 次試験の課題例（リビングダイニングスペース計画）
4	課題 2、作業続き
5	課題 3-1、文章から建物をイメージする（小さなゲストハウス平面図）
6	課題 3-2、条件にあわせて、ゲストハウス計画
7	課題 3-2、作業続き（外構、屋根、立面計画含む）
8	課題 4-1、木造 2 階建住宅のプランパターン
9	課題 4-2、木造 2 階建住宅の新築計画
10	課題 4-2、作業続き（外構、屋根計画含む）
11	課題 5、木造 2 階建て 2 世帯住宅の改装計画
12	課題 5、作業続き
13	課題 6、木造平屋住宅の改装計画
14	課題 6、作業続き
15	課題 7、カウンター席のある飲食店計
16	課題 7、作業続き
17	全体のまとめ
18	各課題の講評、プラン例紹介

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1203	科 目 名	建設と社会			科目区分	兼任
科 目 群	特別講座	担当講師	河村 春美			履修区分	講義
開講学年	1・2 年次	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	選択
教 科 書	福祉住環境コーディネーター 2 級 公式テキスト			教材・参考書：過去問題			
成績評価							

1. 授業概要

福祉の面からみた住環境を学ぶ中で、建築・福祉機器・福祉制度等の知識を習得する。

2. 到達目標

福祉住環境コーディネーター 2 級試験レベルの知識を理解する。

3. 授業計画

前半	
1	ガイダンス（試験制度の解説、授業内容の説明）
2	高齢者の生活状況と住環境整備
3	介護保険制度の概要
4	障害者の生活と住環境
5	障害の定義ととらえかたの変遷～地域包括ケアと地域リハビリテーションの必要性
6	まとめ講義、問題演習
7	高齢者の身体的特性～在宅生活を支える介護の基本姿勢
8	高齢者に多い疾患の特徴（関節リュウマチ等）
9	高齢者に多い疾患の特徴（パーキンソン病等）～肢体不自由（脊髄損傷）
10	肢体不自由（進行性疾患、脳性麻痺等）
11	内部障害（心臓機能障害等）
12	聴覚・言語障害～知的・精神障害
13	まとめ講義、問題演習
14	介護保険とケアマネジメント～相談援助の方法
15	関連職種の関わり方～福祉住環境整備の進め方
16	段差の解消と床の選択～建具への配慮
17	スペースや家具・収納への配慮～玄関の住環境整備
18	前期まとめ講義
後半	
1	ガイダンス（前期の振り返り、後期授業内容の説明）
2	屋内移動（廊下）～排泄
3	入浴～就寝
4	建築図面のルールと読み方～住宅建築における見積もりの基礎知識
5	福祉用具の意味と適用～スロープ・段差解消機等
6	リフト・吊具～生活動作補助用具
7	まとめ講義、問題演習
8	模擬試験
9	模擬試験
10	改修プラン実習（1）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）

1 1	福祉機器の見学、体験
1 2	改修プラン実習（2）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）
1 3	改修プラン実習（3）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）
1 4	改修プラン実習（4）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）
1 5	改修プラン実習（5）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）
1 6	改修プラン実習（6）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）
1 7	改修プラン実習（7）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）
1 8	改修プラン実習発表、まとめ

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1204	科 目 名	資格講座（１）インテリアコーディネーター			科目区分	兼任
科 目 群	特別講座	担当講師	安松 一雄			履修区分	講義
開講学年	2年次	開講学期	前期	単位数	3	授業形態	選択
教 科 書	インテリアコーディネーター試験テキスト			教材・参考書：過去問題			
成績評価	資格試験の結果、及び平常点を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

インテリアコーディネーターに必要な知識を学ぶ。

2. 到達目標

インテリアコーディネーター試験レベルの知識を理解する。

3. 授業計画

前期	
1	第１章 IC の誕生とその背景第 ２章 IC の仕事
2	第３章 インテリアの歴史_1
3	履修範囲の過去問演習
4	第３章 インテリアの歴史_2
5	第４章 インテリアコーディネーションの計画_1
6	履修範囲の過去問演習
7	第４章 インテリアコーディネーションの計画_2
8	第４章 インテリアコーディネーションの計画_3
9	履修範囲の過去問演習
10	第５章 インテリアエレメント・関連エレメント_1
11	第５章 インテリアエレメント・関連エレメント_2
12	履修範囲の過去問演習
13	第６章 インテリアの構造・構法と仕上げ_1
14	第６章 インテリアの構造・構法と仕上げ_2
15	履修範囲の過去問演習
16	第６章 インテリアの構造・構法と仕上げ_3
17	第６章 インテリアの構造・構法と仕上げ_4
18	履修範囲の過去問演習
19	第７章 環境と設備_1
20	第７章 環境と設備_2
21	履修範囲の過去問演習
22	第７章 環境と設備_3
23	第９章 インテリア関連の法規、規格、制度_1
24	履修範囲の過去問演習
25	第９章 インテリア関連の法規、規格、制度_2
26	第８章 インテリアコーディネーションの表現
27	履修範囲の過去問演習 模擬試験

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1204	科 目 名	資格講座（１）２級建築施工管理検定			科目区分	専任
科 目 群	特別講座	担当講師	関村 啓太			履修区分	講義
開講学年	２年次	開講学期	前期	単位数	３	授業形態	選択
教 科 書	『２級建築施工管理技士第一次検定テキスト』（総合資格学院） 『２級建築施工管理技士第一次検定・第二次検定問題解説』（総合資格学院）			教材・参考書：配布資料 （一社）日本建設業連合会編 『施工がわかるイラスト建築生産入門』 彰国社			
成績評価	平常点および２級建築施工管理検定１次試験結果による						

1. 授業概要

２級建築施工管理検定１次試験の試験対策を通じて建築施工の知識について学ぶ、

2. 到達目標

２級建築施工管理検定１次試験に合格する程度の知識を理解する。

3. 授業計画

1	環境工学
2	各種構造
3	確認テスト①
4	構造力学
5	施工共通
6	確認テスト②
7	躯体工事①
8	躯体工事②
9	確認テスト③
10	躯体工事③
11	躯体工事④
12	確認テスト④
13	仕上工事①
14	仕上工事②
15	確認テスト⑤
16	仕上工事③
17	法規
18	確認テスト⑥
19	施工管理
20	確認テスト
21	総合答練演習
22	問題演習① 過去問題の演習と解説
23	問題演習② 過去問題の演習と解説
24	問題演習③ 過去問題の演習と解説
25	問題演習④ 過去問題の演習と解説
26	問題演習⑤ 過去問題の演習と解説
27	問題演習⑥ 過去問題の演習と解説

科目の教育目標・授業計画「2024 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1205	科 目 名	資格講座（2）			科目区分	専任
科 目 群	特別講座	担当講師	関村 啓太			履修区分	選択
開講学年	2 年次	開講学期	後期	単位数	3	授業形態	座学
教 科 書	なし			教材・参考書：なし			
成績評価	確認試験による						

1. 授業概要

二級建築士の出題傾向を解説し、過去問題を解かせ理解を深める。

2. 到達目標

二級建築士受験のための知識を習得し、試験合格を目指す。

3. 授業計画

後期	
1	計画① 環境工学（空気、熱、光、音、色彩）
2	計画② 建築設備（空気調和設備、吸水設備）
3	計画③ 建築設備（排水・衛生設備、電気照明設備）
4	計画④ 計画各論（住宅、商業建築、文化施設）
5	計画⑤ 計画各論（教育施設、医療施設、各部計画）
6	計画⑥ 建築史
7	構造① 力のつり合い、反力、応力
8	構造② トラス、断面の性質、座屈、応力度
9	構造③ 荷重・外力、構造計画
10	構造④ 木造
11	構造⑤ 鉄筋コンクリート造、鉄骨造
12	構造⑥ 建築材料
13	法規① 用語の定義、確認申請、面積・高さ
14	法規② 一般構造、耐火・防火
15	法規③ 防火地域、防火区画、避難施設、内装制限
16	法規④ 構造計算・構造強度
17	法規⑤ 道路、用途地域、
18	法規⑥ 建蔽率、容積率、高さ制限、その他法令
19	施工① 契約・計画・管理
20	施工② 仮設工事、地盤工事・土工事・基礎工事
21	施工③ 鉄筋工事、型枠工事
22	施工④ コンクリート工事、鉄骨工事
23	施工⑤ 防水工事、左官工事、タイル工事、内装工事
24	施工⑥ その他工事
25	演習① 過去問題の演習と解説
26	演習② 過去問題の演習と解説
27	演習③ 過去問題の演習と解説